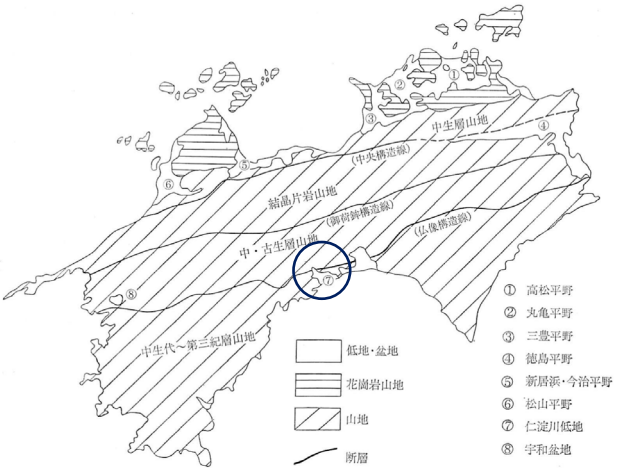
7.仁淀川低地

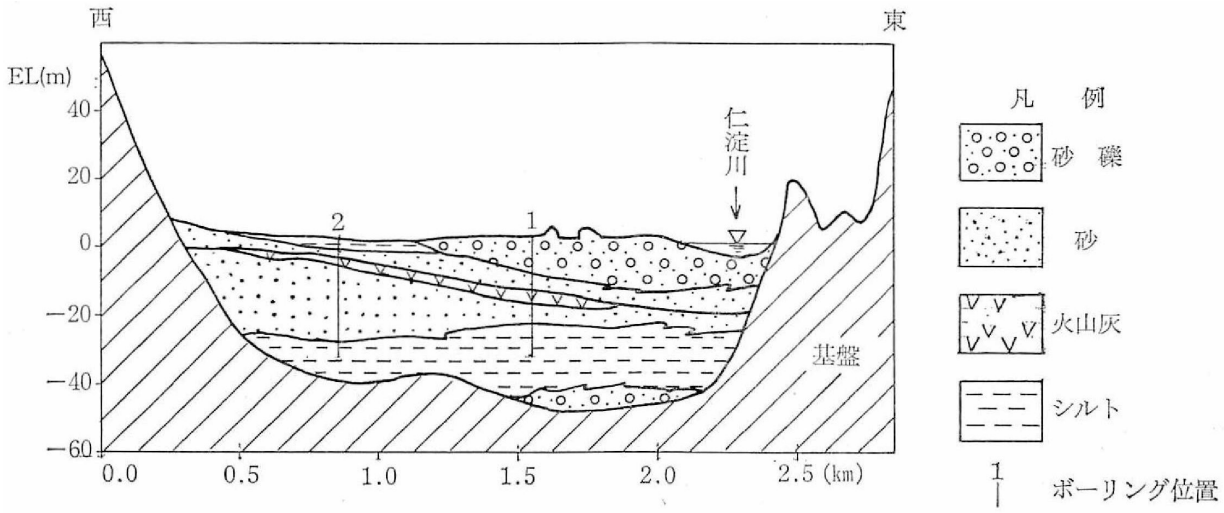


地形・地質

仁淀川下流部の基盤岩類は，中生代四万十北帯の砂岩・泥岩などからなります。低地部には基盤岩類を覆う未固結な礫・砂・粘土などが 30～50m の厚さで堆積し，一部に音地火山灰層を挟んでいるのが特徴です。

地下水

仁淀川沿いの地帯では，一般に，深度 10～15m と 50m 前後に透水性のよい帯水層が存在し，水質も良好です。



仁淀川下流の模式地質断面図

仁淀川下流付近の地層層序表

地質時代			地層名	層厚(m)	層相
新生代	第四紀	後期完新世	上部沖積層	10～13	氾濫原砂礫層
		前期完新世	下部沖積層	5～10	砂層
			音地火山灰層	3～4	火山灰質砂質土（しらす）
			最下部沖積層	15～20	砂層 粘性土層
		更新世	上部洪積層	10＋	低位段丘砂礫層
中生代	古第三紀～白亜紀		四万十層群	基盤	頁岩・砂岩互層を主とする

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）